

まつしま

# 議会だより

第162号

令和7年5月1日発行  
宮城県松島町議会



みんなの力で交通安全（松島町交通安全母の会）

- ◇ 施政方針について ..... P 2
- ◇ 町長の考えを問う（総括質疑） ..... P 3
- ◇ 議案審議 ..... P15
- ◇ 8人の議員が熱弁（一般質問） ..... P18
- ◇ 町民インタビュー ..... P28

令和7年  
第1回 定例会  
[3月3日~3月18日]

# 子育て世帯に対する支援の拡充 ～100年先の明るい未来の松島へ向けて～

櫻井公一町長は、令和7年度の施政方針を次のように示した。

経済的な負担を軽減し、町内で安心して子育てができるよう、子育て世帯に対する支援を拡充するとともに、幼保連携に向けた施設・運営のあり方についても引き続き検討し更なる子育て環境の充実を目指していく。

また、令和7年度は令和8年度から始まる次期松島町長期総合計画を策定する年であり、100年先も笑顔と活気があふれる松島町を目指し、時代の波に流されない持続可能なまちづくりを推進する。

エネルギー価格をはじめとする物価高騰への対応は長期化が予想され、また、復旧・復興事業の精算などにより、引き続き厳しい財政状況ではあるが、町民の皆さまが迷うことなく、全町が一体となり、目指すべき明るい未来の松島へ迎えるよう、先頭に立ち行政運営を行っていく。

「集い、学び、働き、笑顔あふれる  
美しいまち松島」の実現を目指して  
～令和7年度施政方針～

施政方針を全て読みたい方は町のHPからどうぞ



⇒松島町HP「町長の部屋」  
→こちら町長室→施政方針

## 令和7年度施政方針と予算の主な事業

<p><b>心地よく元氣な暮らしを支えるまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松島イノベーションヒルズにおける産業拠点の形成促進・道路整備</li> <li>一般住宅耐震診断及び耐震改修工事等</li> <li>通学路等危険ブロック除去補助継続等</li> </ul>	<p><b>人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策実施計画（区域施策編）の策定</li> <li>カーブミラーの更新</li> <li>上竹谷地区の避難所整備</li> <li>消火栓の更新等</li> </ul>	<p><b>心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>带状疱疹（たいじょうほうしん）ワクチンの定期接種</li> <li>産後ケア事業の拡充</li> <li>入学祝金事業の対象拡大</li> <li>障がい児者への相談支援体制の充実等</li> </ul>
<p><b>自然と歴史に学び、豊かさを育み広げるまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育の継続</li> <li>心のケア、不登校対策</li> <li>中学校体育館照明のLED化</li> <li>文化財の保全・活用等</li> </ul>	<p><b>おもてなしの心を育み、愛されるまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際観光も含めた観光客誘致の強化</li> <li>教育旅行誘致事業</li> <li>広域観光の振興等</li> </ul>	<p><b>豊かな地域で仕事・暮らしがつむぎ合う心かようまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業・創業支援補助の継続</li> <li>環境保全米の生産や農作物鳥獣被害防止対策への補助</li> <li>企業誘致の推進</li> <li>新婚世帯応援事業支援金や定住促進事業補助金の継続</li> </ul>

## 令和7年度の各種会計予算

会計名	令和7年度	令和6年度	前年度当初比	
一般会計	67億8,600万円	62億1,600万円	9.2%	
特別会計	国民健康保険	17億3,238万4千円	17億8,462万8千円	▲2.9%
	後期高齢者医療	2億6,750万9千円	2億5,906万1千円	3.3%
	介護保険	20億6,474万1千円	20億3,136万4千円	1.6%
	介護サービス事業	1,127万円	1,132万1千円	▲0.5%
	観瀾亭等	1億3,862万7千円	1億345万円	34.0%
水道事業会計	7億1,414万4千円	7億2,425万6千円	▲1.4%	
下水道事業会計	13億4,353万円	14億6,634万7千円	▲8.4%	
合計	130億5,820万5千円	125億9,642万7千円	3.7%	

令和7年第1回松島町議会定例会が令和7年3月3日から18日までの16日間の日程で開催され、開会初日には新年度の施政方針が示された。

議員提案1件と町長から提出された議案17件（条例制定及び一部改正・補正予算等）、令和7年度の松島町各種会計予算8件は、慎重な審査を経てすべて原案のとおり可決した。

一般質問は、8人の議員が各々の視点から町政について質問した。



高橋 幸彦  
議員

## 財政について

**問** 町長の施政方針で、財政調整基金の残額が10億円を大きく下回るという文言があり、大変驚いている。その一方、予算総額は前年度比9.2%の増となっている。町長の決意を聞きたい。

**町長** 予算を組んでいく時には、財政調整基金は10億円を切りたくないと思っていたが、物価高騰の影響で、人件費や委託料、また広域事務組合の負担金も含めて全ての金額が増加し、このような当初予算となった。各種事業を、これまで以上に精査して予算対応していく。

## ふるさと納税について

**問** ふるさと納税、企業版ふるさと納税は、前年度と比較して増となっているが、達成できるのか。

**町長** 議会から、予算に対して結果がついてこないとの指摘を受けたが、

全くそのとおりであった。ふるさと納税については、返礼品の見直しを考えている。企業版ふるさと納税については、国の方針で延長となった。町としては、ポイントを絞り、額が小さくとも数を集めるといような対応を考えている。

## 上下水道料金について

**問** 上水道について、町の「PFAS」対策について聞きたい。また、上下水道料金の見直しについての考えは。

**水道事業所長** 「PFAS」については、国の水質検査項目に入っていないが、町独自に行っており、ほとんど検出されない。

**町長** 上下水道料金の見直しは、維持管理費や更新費用が増加しており、令和7年度中に議会と協議を行い、令和8年度からと考えている。

## カキ養殖について

**問** カキ養殖のシロボヤ対策に大変苦慮している。その対策は。

**町長** シロボヤ対策については、担当課も含めて生産者側に立ってやっていく。早速、対応していきたい。

その他、次の質問をした。  
・有害鳥獣対策について

総括質疑



中島 一郎  
議員

## 観光について

**問** 令和6年の観光客入込み数が約313万人となり前年比で約18万人増加している。これは観光振興計画の回復目標300万人を超え、震災以降最多の入込み数となったが、この結果をどのように捉え、分析しているか。

**町長** 観光客についてはコロナが5類へ移行後、回復傾向にある。また、仙台空港国際線の路線が増え、外国人観光客も増加している。令和7年度も順調に回復すると期待しているが、滞在型観光の増加に向け、県と連携しながら進めていく。

## 令和7年度の具体的な取り組みは。

**町長** 台湾からの教育旅行誘致に向け、県と一緒に現地でのPRを予定している。また、近隣自治体と広域での観光や各イベント等、しっかりと手を組んで進めていく。

## 学校教育について

**問** 令和5年度、小中学校の不登校児童・生徒数は小学生5人、中学生21人だったが現在の状況は。

**教育次長兼課長** 令和7年2月時点で小学生10人、中学生23人となっている。

**問** 不登校児童・生徒は前年度より増加しているが学校復帰に向けた取り組みは。

**教育長** 不登校の理由は様々あるが、スクールソーシャルワーカーなどが保護者と相談し、原因を探りながら一日も早い復帰を目指している。また、もみの木ハウスを活用し、保護者の悩みにも広く応えていきたい。

**問** 来年度より中学校の学級編制が変わり、教員数も減少するが、不登校生徒に対するサポートや復帰など、今後の影響は。

**教育次長兼課長** 学級編制と教員の配置については、標準化法で決められた運用となり、これに伴い不登校の増加になってはいけない。特別支援教育の補助員を1名増員し、個別のケアも大切に対応していく。



菅野 隆二  
議員

**問** 前年度から予算が9.2%増の67億8千万円となった要因は。

**副町長** 人件費や扶助費、一部事務組合で約3億円の増加。他にも参議院選挙、県知事選挙、町議会選挙の実施などが要因となっている。

**問** 財政調整基金の残高が5億5千万円に減少したが、災害や非常事態が発生した場合に対応できるのか。

**副町長** 大規模災害時には不足する可能性がある。そういうことも加味して最低でも5億円を下回らないように運営しているが、厳しい状況である。

**問** 外国人向けの防災マップの整備状況は。

**危機管理監** 日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語版を提供している。外国人観光客や町内で働く外国人にも対応できるよう配慮している。

**問** 基金の運用に含み損は発生していないか。

**会計管理者** 令和3年度に購入した10年物の債券において途中解約すると800万円以上の含み損が発生するが、現在の運用を続けていけば問題は無い。

**問** 議会の動画配信についての考えは。

**副町長** 動画配信に関しては空調やレイアウトの変更も含めて議事堂の環境整備と合わせて検討していく。

**問** 企業誘致の進捗と予算削減の理由は。

**副町長** 現時点で確定した企業はない。予算は財政状況が厳しいため削減した。PR活動自体は引き続き行う。

**問** こども未来アカデミーで提案されたアイデアは実現されるのか。

**町長** 約30あるアイデアの中から2つほどに絞って次期長期総合計画の中に取り入れたい。

**問** 学校の閉校基準や現在の状況は。

**教育長** 具体的な基準は設けていない。児童数の減少が続けば将来的に閉校の可能性もある。学校が地域に与える影響を考慮しながら慎重に検討されるべき課題である。

その他、次の質問をした。

- ・ 新たな時代を担う人材の育成について
- ・ ふるさと納税について等



米川 修司  
議員

**環境衛生について**

**問** 施政方針には町民、事業者、町が一体となって温暖化対策（区域施策編）に取り組むとあるが、具体的にどのような取り組みを予定しているか。

**総務課長** すでに町が主体で取り組んでいる事務事業編の延長として、脱炭素に向けたガイドブックを現在作成中であり、町民や事業者にも一つずつ推進してもらうよう丁寧をお願いする予定である。

**企業誘致の推進について**

**問** 施政方針には松島イノベーションヒルズを呼び水とした誘致活動を推進するとあるが、内定企業の撤退防止を含めた今後の見通しは。

**町長** みやぎの工業団地マップによると、松島イノベーションヒルズは未造成の団地名よりも目立つように掲載されていることから、分譲価格の目安を含め誘致活動を推進しやすい環境が整いつつある。

**防犯について**

**問** 施政方針には犯罪が起りやすい危険箇所での防犯パトロールを行うとあるが、今年度小中学校において設置した防犯カメラに加えて、来年度新たに設置する予定は。

**総務課長** 主要な駅や場所においては防犯カメラがあった方がいいと思うが、費用面や維持管理面の問題を踏まえつつ、あらためて庁舎内で議論したい。

**観光客誘致の強化について**

**問** 施政方針には観光資源の磨き上げや効果的な誘客事業に取り組むとあるが、たとえば台湾の小中学生が教育旅行で宮城県内に滞在する間、観光で松島を訪れる際は唯一無二のおもてなしで迎え入れたい。松島子ども英語ガイドが中心となつて、町内の小中学生が観光スポットを案内するなど、他の観光地では見られない特別な形で迎え入れる考えはないか。

**町長** 今年度末は宮城県の行政視察に本町の職員も同行し、教育旅行の誘致について様々な角度から学ぶことになっているが、何らかのきっかけがあれば教育委員会だけでなく、観光班や県と一緒に調査しながら取り組みたい。



赤間 幸夫  
議員

### 予算編成

**問** 令和7年度の予算編成、一般会計対前年度比で9.2%の増、特別会計は0.6%の増であり、水道事業会計は1.4%の減、下水道事業会計は8.4%減での予算編成である。予算編成できた全会計を通じ、今後1年間の予算運営、行政運営していく中で、力を入れて臨みたいという思いは。

**副町長** 定住、子育てを一番に考え、それらがつながり雇用促進になる。こうした考えを基に予算編成をした。

### 過疎地域指定

**問** 過疎地域指定を受けてから、これまでの取り組み状況は。

**副町長** 一例として、子ども医療関係限度枠があるので、財源として満額充当している。財政的にも定住的にも、過疎地域指定から脱却できないぐらいに、取り組んでいかなければいけないと考えている。

### 防災・防犯

**問** 震災復興対策事業関係で飲料用水の水槽を6基ほど当時設置しているが、その維持管理の現状や検査のあり方は。

**危機管理監** 耐震性貯水槽、6か所整備しているが、維持管理に対しメーカーに確認し、20年以上経過した耐震性貯水槽の検査をしたところ、異常なしという結果を得ている。もうすぐ10年になることから、簡易ではあるが水質検査などを考えていきたい。

**問** 防犯指導隊の現在の状況とその活動状況は。

**総務課長** 町内に6団体あり、定期的に活動の実績報告を受けている。また、緊急的に見回りを強化する場合もある。

### 有害鳥獣被害対策

**問** 補助事業の考え方について、農業従事者関係に特化したものなのか。

**産業観光課長** イノシシ等の鳥獣被害に対応するため、令和7年度は人員を20名に増員する計画であり、被害の縮減に向け農家が設置する電気柵等に対し、補助を新たに創設したい。

その他、次の質問をした。  
・太陽光発電施設設置抑制について  
・庁舎改修と議会の公開について

総括質疑



桜井 ていこ  
議員

### 昨年宮城県で可決された「宿泊税」について

**問** 観光資源の魅力増進、旅行者の受け入れに必要な環境整備など観光振興施策の費用に充てる法定外の目的税となっているが、使い方は。

**町長** 宿泊税に関係する事業者説明を行い、その結果を踏まえて、秋以降に始まる予定だが、詳細が分からない中で答えられない。

**問** 他の観光都市では、歴史、文化、伝統ある町を推進するために宿泊税の使い方や観光客の受け入れ環境の充実を重視するところがある。観光客に還元するようなプランは。

**町長** 県内の首長の集まりで宿泊税の配分について漠然と把握しているだけである。現時点では答えられないが、観光振興に活用する方向に向かって私が進め、行動をする。

### 介護予防について

**問** 施政方針にある「通いの場」とはなにか。

**健康長寿課長** 町が行っている事業の通いの場、元氣塾、地域でのサロン、各種老人クラブなどの集まりの場を指している。

**問** 元氣塾が各地域で実施されているが、実施状況と成果は。

**健康長寿課長** 元氣塾は、スタートしてから10年以上が経過している。参加者の平均年齢は80歳代の後半で、90歳代の方も自分の足を使って会場まで通っており介護予防を実践されている。

**問** 北部地区対象の介護予防と買い物を組み合わせた事業があるが拡大して取り組む予定は。

**健康長寿課長** 令和7年度はそのままの継続を計画している。地域の拡大については、予算も踏まえ今後検討する。



今野 章  
議員

## 消費税の引き下げは最も効果的

**問** 米価をはじめ物価高騰が続いている。国の税制改正が実施されても、年収200万円〜300万円での減税効果は、年額5,000円程度。町民の暮らしを守る上で、最も効果的なのは消費税を下げること考えるが、国に消費税引き下げを求める考えはないか。

**町長** 消費税は一自治体の首長の話ではなく、国政の場での問題と思う。

**問** 高額療養費の負担増は人の命に直結する大問題。多くの人が負担増に異議を唱えている。町民の暮らし、命を守る立場から国の施策に反対する考えはないか。

**町長** 昨年の選挙で少数与党となり、議場が議論の場になった。真剣にやり取りされ、議論されて良いものになればと思う。

**問** 国の就学援助の単価が上がった場合、町の準要保護の単価も一緒に引き上げるべきと思うがどうか。

**財務課長** 要保護、準要保護の単価について十分に把握できておらず、単価引き上げがあれば補正予算で対応したい。

**問** 農家の経営安定と国民の食糧を安く提供するためには、価格保障や所得補償へと政策転換が必要と思うがどうか。

**町長** 最近、県単位で米を外国に売る動きが出ている。隣の美里町は香港に米を出している。世界を相手に戦うことも求められていると思う。

## 行政懇談会の開催を

**問** 地域では行政懇談会を開いてほしい。地域の声を聞いてくれ。そして町長の話も聞きたいという声が多い。令和7年度、行政懇談会を開く考えは。

**町長** 上下水道問題など問題は山積しており、今定例議会後の区長会で意見交換もし、参考にしながら取り組んでいきたい。

## 高城川の河川改修の要望は



高橋 利典  
議員

**問** 高城川の高城大橋から田中川の合流地点までの河川改修を、県に要望していくことにしているが、河口付近から湾内にかけて土砂が堆積し、流れが悪い。その対策についても要望が必要では。

**町長** 河川の河口の対策や湾内の土砂の堆積等については、内容を把握した上で東北地方整備局や塩釜港湾事務所にも関係してくると思うので、よく検討し、整備をお願いしていきたい。

## 小学校の教育環境のあり方の検討を

**問** 第五小学校では、複式学級が行われている。統合ありきではなく、学校環境のあり方について、検討委員会を設置するべきではないか。

**町長** 今後の検討課題として捉えている。統合に向けて考えていくのではなく、学校の形をどうしていく

か総論で考えていく場をつくっていく必要があるとは思っている。  
**教育長** 再編ありきの会議でなく、適正な規模など、有識者を交えた検討に入っていきたい。

## 観光客の滞在時間延長対策は。

**問** インバウンドの観光客は遊覧船で島巡りをし、瑞巖寺等を見学、土産店や飲食店に入って帰っていく。景勝地にはほとんど足を運んでいない。景勝地をめぐる手段の対策は。

**町長** 観光審議会の中で滞在型について町でも考えてほしいというようなテーマも出されているので、これは県も含めて町の滞在型に向けてどうすればよいか、真剣に考えていく。今後いろいろな課題について研究していきたい。



富山：麗観（松島四大観 116.6m）

その他、次の質問をした。  
・企業誘致について  
・鳥獣被害の対策について



片山 正弘  
議員

## 定住促進について

**問** 県の要綱等に絡んで定住促進の補助金制度があるが、松島町独自の施策はあるのか。

**町長** 補助金は令和6年度同様に継続する。

**問** 雨水対策を早急に解決方法を示すべきではないのか。

**町長** 30億円〜40億円ぐらいかかるので今すぐは難しいが、高城駅前排水路の一部インバートを切り直し、高城排水機場に流す工事をする。

## 土地の有効利用について

**問** 財政が厳しい中で、着実な定住人口増に努めると示されたが、土地有効活用と企業誘致等の施策は。

**町長** 人口は確かに減っているが、世帯数は逆に微増である。海岸地区には新たに起業する方が増えてきた。高城地区にも一部広がってきたが、広い空地もあり、相談に来た場合には率先に対応する。明神地区は、当初の計画の範囲で進めて行く。

**問** 海岸地区での起業者増は大変喜ばしいが、観光と松島町民が一体化されているかといえそうですが、住民としては生活圏を安定して生活ができるような施設を願っている。積極的に商業施設等の誘致を進めるべきではないのか。

**町長** 商業施設等の誘致に力を入れており、問い合わせがあった場合には現地視察や地権者との協議等についてサポートしている。子どもたちのタウンミーティングや住民からもスーパールの出店が望まれている。磯崎保育所の跡地も含め商業施設等の誘致を考えている。

## 予算審査特別委員会 現地調査

3月10日に現地調査を行いました。以下の現地のほか、上竹谷地区避難所建設予定地の確認をしました。

松島イノベーションヒルズ工事現場



健康館の現状確認



保健福祉センター大規模改修工事現場



都市計画道路 根廻・初原線工事現場



# 第1分科会 第1分科会が審査する課

議会事務局/総務課/選挙管理委員会/企画調整課/財務課/産業観光課(観瀾亭等特別会計)/建設課/  
※( )内の会計を含む。

## 企画調整

### 主なつかいみち

広報公聴費	980万円	(174万円)
企画費	1,993万円	(△370万円)
電子計算費	1億9,027万円	(1億2,599万円)
地方創生費	1億362万円	(△202万円)

**問** 企業立地・誘致、定住促進関連の事業費が減額となっているが問題ないか。  
**企画調整課主査** 事業費は減額となっているが、オンラインでの打ち合わせを希望する企業も多く、問題はない。

**問** 1億2,300万円程基幹系システム経費が増えている要因は。  
**企画調整課主査** 令和7年度単体で発生するガバメントクラウドへの移行・構築と動作確認の業務委託料及び標準化対応システムへの更新に伴う賃借料が要因である。

## 企業版ふるさと納税の目標額達成は

**問** 企業版ふるさと納税の目標1億円を達成するための方法は。また、新しいプロジェクトなどは考えているのか。  
**企画調整課次長** 委託事業者の数を増やし、幅も広げた上で我々もPR・営業を重ねていく。新しいプロジェクトは現時点では決まっていない。

**問** 行政区で何か事業を実施したいと考えた場合の相談窓口は。  
**企画調整課次長** 企画調整課が窓口である。コミュニティ助成事業については当課から各課へ調査依頼をする。



## 総務・環境防災

### 主なつかいみち

職員研修経費	251万円	(△1万円)
集会施設指定管理経費	205万円	(△1万円)
交通安全費	744万円	(△55万円)
町民バス運行費	4,628万円	(△10万円)
塵芥処理費・し尿処理費	3億0,950万円	(1,941万円)
消防費	3億8,341万円	(1億967万円)

※( )内は前年度対比



予算質疑

## 地域の担い手不足への対策は

**問** 令和7年度の職員の新規採用予定者は。  
**総務管理班長** 保健師1名、社会福祉士1名、一般行政5名の計7名の予定である。

**問** 行政区の役員のなり手不足の問題に対する対策は。  
**総務管理班長** 2つの行政区を1つにするなどの検討も必要である。また、役員の業務が負担になり過ぎないかなどについても見直しを図る。

**問** 町のマイクロバスの使用規定は。地区への貸し出しは可能か。  
**総務管理班長** 職員が公務に従事する場合、町主催の事務事業の場合に使用できる規定となっている。事故などを考えて以前とは規定が変わっている。

**問** 上竹谷の避難施設の完成予定と費用の総額は。  
**危機管理監** 令和8年3月に完成する予定である。費用に関しては令和6年度と令和7年度を合わせて1億2,200万円程度である。

## 建設・施設管理

### 主なつかいみち

漁港管理費	1,427万円	(△4万円)
道路橋梁費	1億1,281万円	(1,654万円)
河川費	303万円	(30万円)
町営住宅・木造住宅耐震経費	2,062万円	(997万円)

## 農林水産業・商工・観光

### 主なつかいみち

農業振興費・農地費	5,332万円	(△1,292万円)
園芸振興費・林業振興費	4,789万円	(△549万円)
商工業振興費	5,506万円	(△1千円)
観光費	5,701万円	(△346万円)

### 高城町駅前のロータリーの活用を

**問** 高城町駅前の周辺の道路に車が停まって通行しづらい。ロータリーの活用を呼びかけては。

**管理班長** 以前、広報で呼びかけを行った。近隣自治体の例を参考に、解消が図れるよう対応していきたい。

**問** 舗装補修工事の考え方は。

**建設班長** 町全体で舗装補修箇所の優先順位があるのでその中で今後進めていく。また、工事の開始までは、道路に穴があれば、随時穴埋めして維持管理していきたい。

**問** 町頭1号跨線橋、町頭2号跨線橋の補修についての考えは。

**建設班長** 町内の橋梁については、5年毎に点検をしており、いい状態ではないと認識しているが、線路の上部の工事のため時間がかかる。撤去を含めJRと協議しながら地元と合意形成を図っていきたい。



### 西行戻しの松公園の桜について

**問** 多面的機能支払交付金について、恩恵を受けていない地域への考えは。

**産業振興班長** 地域計画に入ることによって、逆にその網を外すことが農振地なみに難しくなり、開発等の足かせになってしまう。補助等については財政的に厳しい。

**問** シルバー人材センターからの補助金増額要望に対する考えは。

**産業観光課長** 事務局と協議を重ねている。増額は必要と考えているが、収益以内に収める考えだ。

**問** 西行戻しの松公園の桜が最近綺麗ではない。植樹を考えては。

**観光班長** 野鳥が芽を食べる被害や天候の影響で花付きが良い年、悪い年がある。老木なので新しい桜を植樹する機会があればと感じている。

**問** オーバーツーリズムで京都から日本人がいなくなっている。今こそ日本人誘客の考えはあるか。

**観光班長** 以前より東北や関東圏からのお客さんが多いため、今後も国内向け誘客を進める。

## 財務・税務

### 主なつかいみち

財産管理費	6,673万円	(△1,881万円)
ふるさと納税費	1億4,713万円	(7,384万円)
賦課徴収費	5,919万円	(△1,353万円)

## 第2分科会 第2分科会が審査する課

町民福祉課(国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計)/健康長寿課(介護保険特別会計・介護サービス事業特別会計)/教育委員会/水道事業所(水道事業会計・下水道事業会計)/※( )内の会計を含む。

### 町民サービス・福祉・こども

#### 主なつかいみち

戸籍住民基本台帳費	6,744万円	(1,711万円)
障害者福祉費	4億6,291万円	(2,584万円)
保育所費	1億6,164万円	(635万円)
子育て支援事業費	1億8,892万円	(1,376万円)



**問** 戸籍住民基本台帳費が突出して高いが、なぜか。  
**町民サービス班長** 令和8年度より戸籍にふりがなを記すという新し

**問** 保育所の待機児童数と待機が発生する原因は。  
**こども支援班長** 2月末では6人いるが、新年度には解消する見込みである。施設面積に対する人数の上限があるため、今後申込みがあった場合には待機になる可能性がある。

**問** 障害者自立支援給付事業の増額の理由は何か。また、障がい児の支援事業所はどこにあるのか。  
**福祉班長** サービスの利用増で、大人は就労支援、障がい児は全般的な利用の増である。支援事業所は、社会福祉協議会に委託している。

### 保育所の待機児童の発生原因は

い制度が始まり、前段階として改修委託が増えるためである。

### 水道・下水道

#### 主なつかいみち

水道事業会計	7億1,414万円	(△1,011万円)
下水道事業会計	13億4,353万円	(△1億2,281万円)
合併処理浄化槽設置事業	507万円	(0円)

※( )内は前年度対比

**問** 下水道施設は、耐用年数を超えたものがあるのか、また調査を行っているのか。  
**水道事業所長** 下水道施設の耐用年数は、50年。下水道の供用開始が平成3年から34年経過である。松島地区・高城地区は調査済みでマンホールの蓋等の修繕が必要だが、埋没するような異常箇所は見当たらない。

**問** 水道料金の改定は考えているのか。  
**水道事業所長** 令和8年度から今後10ヶ年計画を実施するが、料金を改定しない場合、令和14年度には資金枯渇になる。早急に料金を上げる必要があると考えている。

### 水道料金の改定は考えているのか

**水道事業所長** 耐用年数前でも計画的に老朽管の改修工事を実施していく。



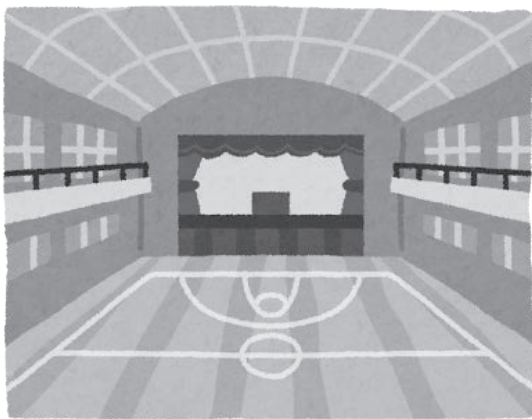
二子屋浄水場

# 各課に問う

## 学校教育・生涯学習

### 主なつかいみち

小学校費	1億1,674万円 (△389万円)
中学校費	6,675万円 (1,796万円)
社会教育・保健体育費	2億7,238万円 (2,489万円)
幼稚園費	6,982万円 (814万円)



**問** 中学校の体育館照明のLED化について工事の実施時期は。  
**学校教育班長** 学校との協議が必要となるが、夏休みを予定している。  
**問** 第五小学校の3・4年生が複式学級となるが、教育長の考えは。  
**教育長** 児童が1人でも学校としては成り立ち、学力が高くなる可能性はあるが、コミュニケーション能力は育たない。一方で、複式学級であるが故に、下の学年の児童が上の学年の授業内容を早い段階で理解する場合同もありデメリットだけではない。

### 中学校体育館照明、LED化へ

### LED化へ

**問** 町史作成にあたり、資料編の進捗状況は。  
**町史編さん室長** 令和6年度は旧家にある資料の所在確認や、学校に残っていた戦前の資料の調査を行った。令和8年度まで継続する。  
**問** 勤労青少年ホームの名称変更等の検討は。  
**中央公民館長** 時代が移り変わり勤労青少年ホームという名称はそぐわないものと認識している。名称変更には条例改正も必要となり、料金改定の際に合わせ、町民に愛着を持ってもらえるような名称を検討していきたい。

## 健康長寿・介護

### 主なつかいみち

老人福祉費	3億5,311万円 (2,069万円)
保健福祉センター管理費	1億9,870万円 (1,226万円)
介護保険特別会計	20億6,474万円 (3,337万円)

### 健康館の老朽化について

**問** フレイル予防の推進について、健康啓発講座の開催場所等の詳細は。  
**健康づくり班長** 各地域で住民が立ち上げた通いの場へ、看護師や健康運動指導士といった専門職を派遣して講座を開催している。  
**問** 健康館について、築百年以上の建物にしては内部が小綺麗であるが、適切に修繕しているのか。  
**健康長寿課長** 建物が古すぎて大きな手を加えられない事情はあるが、デイサービスセンターの指定管理者

とその都度協議し、町が対応できること、できないことを整理しながら対応している。

**問** 避難行動支援者名簿について、現在の登録者数等と今後の見込みは。  
**高齢者支援班長** 令和6年12月1日時点の登録者は369人（うち情報提供の同意者は約半数）であるが、今後も各課に名簿更新を促す、ケアマネジャーへ制度を説明する等が続けることにより登録者数等を増やしていく。



## 一般会計

反対

今野 章 議員

ハラスメントを告発する手紙を頂いた。告発を真摯に受け止め、相談体制や人事等に活かされた。物価高騰には逆進性の高い消費税の引き下げが効果的で、国に引き下げを求めろべき。都市計画道路路、根廻・初原線の全線完成予定がずれ込み、物価高騰で総事業費が膨らむなど、今後の財政運営に懸念を残す。高齢化が進む中、住宅密集地域でも地域公共交通の確保が必要となっている。県に障害者医療費の窓口無料の実現を強く求めるべき。インボイスの導入や物価高騰で、シルバー人材センター運営の困難も拡大せざるを得ない。補助金の引き上げを。町営住宅入居時の連帯保証人制度は廃止すべきである。食料の生産基地である農村・農業は危機的な状況にあるにもかかわらず、それに見合った予算措置がされていない。

賛成

菅野 隆二 議員

昨年度と比較して5億7,000万円(9.2%)増の当初予算。町民生活を物価高が直撃し、厳しさを増す現状を考えると簡単に賛成することができないと考え、施政方針・当初予算編成方針を確認し、様々な疑問点に対しての質疑を執行部へ行った。予算審査特別委員会の中では事業の大小や予算額に関係なく確認を行った。本格的な人口減少社会の到来、高齢者福祉関係経費の増加、子育て関連予算を含む扶助費・民生費の増加など厳しい財政状況を踏まえながら今回の予算を改めると見ると町民を守るために効果的かつ効果的な予算組みがされていると実感できた。予算審査特別委員会から出された指摘要望事項や、各分科会での審査過程において出された意見等にも対応いただくことを要望して賛成討論とする。

## 討論

## 国民健康保険特別会計

反対

今野 章 議員

令和7年度、国の国民健康保険の予算積算上の医療費は、令和6年に比較し344億円の減額で、定率国庫負担金や調整交付金の減少が見込まれる。さらに、国保税の賦課限度額を3万円引き上げ109万円に。積算医療費の減や賦課限度額の引き上げは、保険料の引き上げにつながる。負担増の押し付けには反対である。

賛成

米川 修司 議員

前年度に比べ世帯数が200世帯弱、被保険者数が350人弱減少する見通しであるが、厳しい財政状況の中でも、町は低所得者への軽減措置や医療費の適正化等を継続することにより、被保険者の生活実態に寄り添いながら、適切に予算を見積っていると評価できる。町民はマイナ保険証を保有することにより、データに基づくより良い医療が受けられる、手続きなしで高額療養費の限度額を超える支払が免除される、といったメリットを享受できるため、本町のマイナ保険証の登録率は昨年12月時点で約67%と急上昇中であり、マイナ保険証普及のための取組みが一定の成果をあげている。

町は今後も国や県との連携のもと、全ての世代が安心感と納得感を得られる社会保険制度の確立に向けて、今後も町民の健康の確保に努めることを期待し、賛成の討論とする。

## 後期高齢者医療特別会計

反対

今野 章 議員

後期高齢者医療は、2022年10月から単身年収200万円以上や夫婦世帯年収320万円以上の窓口負担を2割負担とし、外来の自己負担を3千円に抑える「配慮措置」を講じてきたが、配慮措置は今年9月に終了し、終了後は、最大1万3千円の負担増となる。また、令和5年の法改正では、「出産育児一時金」の費用の一部を後期高齢者の保険料負担とすることも決定している。

賛成

桜井ていこ 議員

後期高齢者医療制度は、将来にわたって安心して医療を受けることができるように社会全体で支えあうため平成20年度から制度開始された制度で、今年度の特別会計の歳入歳出予算は、2億6,750万9千円、前年度と比較して金額で844万8千円の増、率にして3.3%の伸び率となった。

後期高齢者医療制度の財源は、約5割を国や自治体からの公費、約4割を現役世代からの支援金約1割を後期高齢者の保険料で運営している。

第3期データヘルス計画に基づき、高齢者の心身の多様な課題に対処したきめ細かい支援及び医療費適正化事業をはじめ、町内の高齢者が安心して生活し、だれもが安心して暮らせる地域医療を受け続けられるよう、宮城県後期高齢者医療広域連合と連携しながら、円滑な運営を、今後も期待して賛成討論とする。

# 予算審査特別委員会の意見・要望

予算審査特別委員会は、第1分科会（総務経済常任委員会）第2分科会（教育民生常任委員会）で、一般会計・各特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の令和7年度各種会計予算について6日間の審査を行った。審査の結果、以下の意見や要望等を町長へ提出した。

## 企業版ふるさと納税について

企業版ふるさと納税は、町の財政を支える大きな柱である。他の自治体に負けない「企業版ふるさと納税をするなら松島」と思ってもらえる魅力あるプロジェクトを確立することを切望する。

## 太陽光発電施設の条例について

太陽光発電施設敷地の管理がさまざまな場所がある。将来の土地利用を見据えながら推進地域と抑制地域を明確に分けることや、設置者と住人のトラブル防止のために太陽光発電施設設置に関する町独自の条例を整備すべきである。

## 町営バスの効率化について

バスのリース料は大きさににより大幅に違うことから、小型のバスの活用を研究し、乗客が集中する時間帯は2台走らせ、他の時間帯は別ルートを走らせるなどニーズと効率化を両立させた、より良いルート・ダイヤになることを望む。

## 農業支援について

鳥獣被害対策は実施隊員の20名への増員や、電気柵に対する補助金の支給などは評価するものの、農業全般に対する予算にほとんど変化がなく、高齢化による担い手不足など農業が抱える現状に対する危機感が予算に反映していない。国がやらないうところに町が手を差し伸べるべきである。

## カフェベイランドの収益増に向けて（観瀾亭等特別会計予算）

コロナ後の観光客の増加や職員の努力もあり、福浦橋の通行者数が大幅に伸びていることは大変喜ばしいことである。これを起爆剤とし、通行料以外の収益も同じように伸びるよう尽力していただきたい。

## 健康館について

健康館の老朽化が著しい。利活用を含め、今後の在り方について十分に検討し運営されたい。

## 保育所及び留守家庭児童学級について

預かりスペースの不足により、乳幼児及び児童の受入れが制限されている現状を踏まえ、できるだけ早く対策すべきである。

## 勤労青少年ホームについて

施設の名称を含め、時代に沿う形での在り方を検討されたい。

## 水道事業会計について

今後も減収が続くと令和14年度には資金が枯渇する恐れがあるため、今後の料金体系を見直しながら財政健全化に向けて対処されたい。

## 下水道事業会計について

高城地区雨水排水改修工事について、新たな浸水地域が発生しないよう影響を十分に考慮し取り組まされたい。



令和7年度予算審査特別委員会 小澤 陽子 委員長

# 令和7年 第1回 定例会 提出議案 (3月議会)

議案第1号 松島町議会の保有する個人情報の保護に関する条例の一部改正について  
条項ずれ等を整理する所要の改正

議案第2号 松島町子ども・子育て支援事業計画(第三期)について  
地方自治法第96条第2項の議決事件

議案第3号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について  
懲役及び禁錮を廃止して拘禁刑が創設されることに伴い関係条例を一括改正するため制定

議案第4号 松島町監査委員条例及び松島町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について  
条ずれを整理する所要の改正

議案第5号 松島町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について  
項ずれを整理する所要の改正

議案第6号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について  
仕事と育児の両立支援に係る時間外勤務の制限対象となる子の範囲の拡大等に関する改正

議案第7号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について  
特殊勤務手当として災害応急作業等手当を支給するための改正

議案第8号 松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について  
家庭的保育事業者等における食事の提供に関する設備の基準を見直す改正

議案第9号 松島町営住宅条例の一部改正について  
小石浜住宅を用途廃止することに伴う改正

議案第10号 和解及び損害賠償の額の決定について  
樹木の枝が着雪により折れ落下したことによる自動車破損の和解及び損害賠償の額の決定

議案第11号 工事請負契約の締結について  
工事名 (都)根廻・初原線道路整備その4工事  
契約金額 303,028,000円  
相手方 菱中建設株式会社石巻支店

議案第12号 令和6年度松島町一般会計補正予算(第7号)  
ふるさと寄附金及び企業版ふるさと寄附金の寄附見込み等による補正

議案第13号 令和6年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
一般被保険者療養給付費等の精査に伴う補正

議案第14号 令和6年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)  
財政調整基金繰入金の補正

議案第15号 令和6年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)  
居宅介護支援サービス計画費収入の精査に伴う補正

議案第16号 令和6年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)  
財政調整基金積立金の補正

議案第17号 令和6年度松島町水道事業会計補正予算(第4号)  
人件費及び建設改良事業の精査に伴う補正

議案第18号 令和6年度松島町下水道事業会計補正予算(第3号)  
営業費用及び建設改良事業の精査に伴う補正

## 令和7年度各種会計予算

- 議案第19号 令和7年度松島町一般会計予算
- 議案第20号 令和7年度松島町国民健康保険特別会計予算
- 議案第21号 令和7年度松島町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第22号 令和7年度松島町介護保険特別会計予算
- 議案第23号 令和7年度松島町介護サービス事業特別会計予算
- 議案第24号 令和7年度松島町観瀾亭等特別会計予算
- 議案第25号 令和7年度松島町水道事業会計予算
- 議案第26号 令和7年度松島町下水道事業会計予算

# 令和7年 第1回 臨時会 提出議案 (1月27日)

議案第1号 令和6年度松島町一般会計補正予算(第6号)  
物価高騰の影響を受けている町民等に対する支援を目的とした事業等の補正

# 議案 審議

## 「育もう！すこやか笑顔あふれる 松島の子」 松島町子ども・子育て支援事業計画（第三期）決まる

松島町子ども・子育て支援事業計画(第三期)について

### 質疑

**米川修司議員** 地域子育て相談機関の状況が検討中から継続へ修正になった理由は。

**町民福祉課長** 相談機関は、令和6年4月から設置し、実際にやっていたので継続中に修正した。

**今野章議員** 入学祝金は、小学校入学の第3子という規定になっているが、施政方針で中学校も含め拡大しているのに、計画書の中に当然盛り込まれる内容ではないか。

**町民福祉課長** 今回当初予算で議決をいたなければ、その部分を訂正し、完成版に載せたい。

その他、櫻井靖議員より質問があった。

賛成全員・可決

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

### 質疑

**高橋利典議員** 懲役と禁錮の違いはなにか。

**総務課長** 懲役は刑務作業が義務で、禁錮は刑務作業が義務ではない。

賛成全員・可決

職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

### 質疑

**菅野隆一議員** 職員が40歳となる年度において前項の制度の周知を行わなければならない規定だが、40歳以上の職員の周知はどうなるのか。

**総務課長** 介護に係る制度をまとめたガイドブックを職員が見れるチャットツールに掲載しており、全職員・年齢にかかわらず誰でも見れる。

**赤間幸夫議員** 相談体制の整備の申請は毎回申請するのか。

賛成全員・可決

**総務課長** 連続してれば1回の請求でいいが、ある一定の期間空いてしまえば当然改めて申請してもらおう。

賛成全員・可決

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

### 質疑

**赤間幸夫議員** 災害応急作業等手当の額の根拠は。

**総務課長** 人事院規則の額を適用している。

賛成全員・可決

松島町営住宅条例の一部改正について

### 質疑

**赤間幸夫議員** 小石浜住宅の築年数、入居者なしになってからの経過年数、その後の利用は。

**建設課長** 小石浜住宅は建ててから70年が経過し、昨年居住者なしとなった。解体する方向で調整しており、土地については今後庁舎内で議論していく。

賛成全員・可決

和解及び損害賠償の額の決定について

### 質疑

**菅野隆一議員** 今回の事故は、町有地内で発生したことなのでスムーズに事が進んだが、民有地だった場合の町の対応は。

**建設課長** 町に相談してもらえば誰の土地なのかわかる。その後土地の所有者と損害賠償についての交渉を行うことになる。

町は道路管理者なので定期巡回等をしつかり行い支障となる木などが無いよう適切に対応していく。

**赤間幸夫議員** 県、国所管の道路等の場合も町が一手に町民からの相談に対応するのか。

**建設課長** 町民から相談があった場合は、我々から直接、県、国に話をして対応していきたい。

**高橋利典議員** 積雪時等で町道に立ち木などが下がってきた交通に支障があるとき、自分で勝手に処分していいのか。

**建設課長** 切っていただけのことは大変ありがたいが、切ることによって事故が起きるリスクがある。安全の確保の点から町に連絡してもらいたい。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結について(一部)根廻・初原線道路整備その4工事

### 質疑

**菅野隆一議員** 予定価格の設定は適正なのか、競争性の確保はしっかりなされているのかを改めて確認したい。

**建設課長** 設計の見積額に関しては、国、県が出している資料をパソコンで積算し全体の価格は分かっているのが状況である。今回は管理費の部分でかなり競争が激しかったと認識している。

**阿部幸夫議員** 盛土が、切土の10倍ぐらいある。余った土砂の取扱いは、町でどこかに持っていくのか、それとも再利用するのか。

**建設課長** 約3万m<sup>2</sup>の残土の内、約2万m<sup>2</sup>については町内の受け入れ先が決まっている、残り1万m<sup>2</sup>は、イノベーションヒルズの工事で使えないか協議を行っている。

その他、赤間幸夫議員より質問があった。

賛成全員・可決

# 磯崎保育所跡地 今後の対応は



## 令和7年第1回定例会 補正予算

令和6年度松島町一般会計補正  
予算(第7号)

### 質疑

**高橋利典議員** 磯崎保育所跡地の売り払いについて、今後の対応は。

**財務課長** 住居の他、集合住宅、3,000平米以下の店舗等が建設可能な土地になることから、段階を踏んで利用条件を考えながら売却にあたる。

**米川修司議員** 木造住宅耐震診断、耐震改修工事、危険ブロック塀等除去除却事業について、減額補正となっているが、必要な家庭に対してしっかり周知されているか。

**建設課長** 広報、HP等で周知している。また、相談は数件あったが最終的に辞退され、実施にいたっていない。引き続き周知に努める。

**櫻井靖議員** 町史編さんの報酬費が減額となっているが、遅れ等の状況は。

## 補正予算

**教育次長兼課長** 古文書等の調査をボランティア養成講座として研修と掛け合わせた。また、職員で対応した古文書もあったことから、減額となっているが、町史の進捗に遅れはない。

※その他、菅野隆二議員、赤間幸夫議員から質問があった。

賛成全員・可決

令和6年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)

### 質疑

**菅野隆一議員** 延滞税の内容は。

**産業観光課長** 令和5年9月に実施した平成4年度収入に係る確定申告に対し修正申告を行った事により、延滞税が発生した。

**菅野隆一議員** 再発防止策は。

**産業観光課長** 今後、複数の職員で確認するよう十分に話し合いを行った。

賛成全員・可決

## 令和7年第1回臨時議会 補正予算

令和6年度松島町一般会計補正  
予算(第6号)

### 質疑

**菅野隆二議員** 根廻・初原線道路整備事業の財源について、企業版ふるさと納税の未達分が目撃通りであれば賄えたのでは。

**財務課長** 財源について、まち・ひと・しごとの基金があれば全額その事業で賄われるものと認識している。また、本事業が国の補正予算で認められ、通常の地方債よりも交付税の算入率が高いということで財源の1つとし、今回補正予算とした。確かに本来、寄附で全部賄えたのが、事業進捗と併せ提案したものとご理解いただきたい。

**赤間幸夫議員** 根廻・初原線道路整備事業の工事の進捗状況は。

**建設課長** 国道346号線側の工事は順調に進んでいるが、水道等各関係機関との調整ができており年度内の完了が難しい状況で、6月完了見込みとなる。初原部分に関しては、2月上旬

に全ての樹木撤出作業が完了し、現在吹きつけ工事等進んでいる。今回の補正予算部分が最終の本体工事の位置づけとなり、可決後、即発注に入る。また、土木工事については、組合側と十分に調整を行い、対応を相談した上で、当初の予定どおり進めていく。

**米川修司議員** 地域観光支援クーポン発行事業について、前回実施した松島詣通行手形の町民及び観光客の購入割合は。また、購入されたクーポンの利用率は。

**産業観光課長** 購入者へアンケートを実施したところ、町内28%、仙台市内22%、その他県内35%、県外が13%という結果となり、約9割が県内の方々に購入されていた。また、利用率について、地域限定クーポンが約9割7分、施設利用分が約8割となり、全体で約9割が利用された結果となった。

賛成全員・可決

# 議案採決結果表

## 表の見方

①採決結果：賛成全員（可決または採択）→全  
 賛成多数（可決または採択）→多  
 賛成少数（否決または不採択）→否

②各議員の表決：賛成→○ 反対→×  
 ③その他：欠席→欠  
 退席（除斥を含む）→退  
 議長→議

## 令和7年第1回定例会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井つこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対		
議員提案第1号	松島町議会の保有する個人情報の保護に関する条例の一部改正について	3月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第2号	松島町子ども・子育て支援事業計画（第三期）について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第3号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第4号	松島町監査委員条例及び松島町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第5号	松島町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第6号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第7号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第8号	松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第9号	松島町営住宅条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第10号	和解及び損害賠償の額の決定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第11号	工事請負契約の締結について【(部)根廻・初原線道路整備その4工事】		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第12号	令和6年度松島町一般会計補正予算（第7号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第13号	令和6年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第14号	令和6年度松島町介護保険特別会計補正予算（第4号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第15号	令和6年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第16号	令和6年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算（第3号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第17号	令和6年度松島町水道事業会計補正予算（第4号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第18号	令和6年度松島町下水道事業会計補正予算（第3号）	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第19号	令和7年度松島町一般会計予算	3月18日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	12	1	
議案第20号	令和7年度松島町国民健康保険特別会計予算		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	12	1
議案第21号	令和7年度松島町後期高齢者医療特別会計予算		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	12	1
議案第22号	令和7年度松島町介護保険特別会計予算		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第23号	令和7年度松島町介護サービス事業特別会計予算		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第24号	令和7年度松島町観瀾亭等特別会計予算		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第25号	令和7年度松島町水道事業会計予算		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第26号	令和7年度松島町下水道事業会計予算		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

## 令和7年第1回臨時会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井つこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
議案第1号	令和6年度松島町一般会計補正予算（第6号）	1月27日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0



よね かわ しゅう じ  
米川修司 議員

問

地域農業を守るために若い担い手が年中働けるような魅力ある地域を目指すには

答

親元就農も含め観光等の連携による新たな魅力づくりを検討する

**町長** JA仙台、農業委員会をはじめ農業関係者の意見を聞きながら、農地中間管理機構を活用した貸付けを進め、他市町村より認定農業者を受け入れることに加え、これまで復興事業を活用した手樽地区の圃場整備もを行っている。

**問** 町は「実質化された人・農地プラン」において、認定農業者等へ農地を集約化する方針を掲げ、未集積農地の集積方法を課題に挙げていたが、これまで具体的な対策をどのように講じてきたか。

**問** 今年度末に策定される「地域計画」によると、担い手に対する農用地の集積に関する目標として、集積率を現状の58%から10年間で63%へ引き上げるとしているが、町は現状をどのように認識し、目標到達までのロードマップをどのように描いているか。

**町長** 現状として担い手不足や農家の高齢化は否めない一方で、若い担い手の中には規模を拡大したい農家もいることから、今後10年間で高収益化に向けた水稲と大豆によるブロックローテーションに取り組み、担い手の集積を図りたい。

**問** 町民の住み心地や定住意向を踏まえ、町民が今後も松島町に住み続けたいと思う理由について、町が最も重視していることは何か。

**町長** 定住、子育て、交流を重点戦略に掲げているが、偏った施策を展開するのではなく、バランスのとれた行政運営を行うことが重要である。

答

交通、教育、地域の利便性を子育て世帯へ示すことが人口減少に歯止めをかける

問

地方消滅を回避するためのまちづくりとは

**問** 本町は将来、各種産業が盛んで地域経済が活性化するまち、あるいは将来の担い手を育成する教育が充実しているまちを目指すことが大切であるが、町がこれから重点的に取り組むたいことは何か。

**町長** 本町の主産業の振興を促進させることに加え、新たな産業の創出が重要であるが、各産業の相乗的な振興を促し、若者世代に限らず様々な人が担い手となるまちづくりを目指す。

**問** 本町は将来、子どもを産み育てやすいまち、あるいは地域や町民が交流し互いに支え合えるまちを目指すことが大切であるが、町がこれから重点的に取り組むたいことは何か。

**町長** こども家庭センターを中心として、妊産婦から子育て世代や子どもが一体的に相談できる体制の強化と、地域全体による子育て支援体制の充実を目指し、子育てするなら松島と選んでもらえるよう、引き続き子育て支援施策の推進に取り組む。





さくら い 桜井ていこ 議員

## 問 鉄道との乗り継ぎを配慮したバスダイヤ改正の予定は

答 鉄道との乗り継ぎを考慮して検討している

**町長** バスの利用者アンケート乗降調査の分析結果や利用者のアンケートを参考に、運行間隔が空いている時間帯の解消と鉄道との乗り継ぎも考慮したダイヤの見直しを検討している。

脱炭素の啓発は、地球温暖化対策のガイドブックを作成中である。



東松島市 らくらく号

**問** 松島町ゼロカーボンシティ宣言をした町として、二酸化炭素排出実質ゼロをめざし、公共交通機関を利用する取り組みが必要では。また、電車間に合うバスがなく駅へ送迎する自家用車が多く見受けられる。鉄道への乗り継ぎに配慮した町営バスの運行が必要と思われるが、今後の予定は。

**問** 玄関から目的地までの移動を望む交通弱者のために、改めてデマンドタクシーの導入に取り組み考えはないか。

**町長** 平成30年、令和元年のデマンドバス実証実験の結果によりオンデマンドの取り組みを行う考えは一切ない。

**問** 令和6年12月仙台市、令和7年2月栗原市においてパートナーシップ宣誓制度が導入された。性的マイノリティの方たちがのぞむ生き方を選択し、だれもが安心して暮らす事ができる環境づくりをすすめるため、観光都市松島町として、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入の検討は

## 問 パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入の検討は

答 住民の理解の重要性は認識するが、取り組む考えはない

ファミリーシップ制度の導入を検討すべきでは。

**町長** 性の多様性に対する住民の理解の重要性については、認識するが、取り組み考えはない。

**問** 多様な家族の在り方を尊重する動きが広がっている。ダイバーシティの推進も重要と思われるが、研修は行っているか。

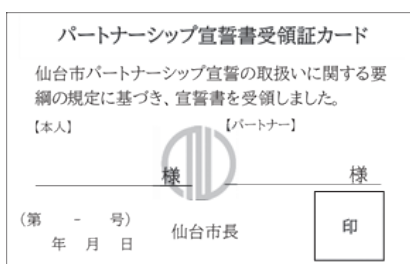
**総務課長** 令和4年度に一度研修を行っている。職場内研修として、テーマを選び行っている。この2年間は取り組んでいない。

**問** 中学校では、ジェンダーレスの観点から制服の見直しがあったが、利用しているか。

**教育長** 令和5年度から女子の制服についてスカートでもズボンでも着用できる制度とし、運用している。

**問** パートナーシップ制度の住民への周知や啓発事業についての取り組みは。

**総務課長** 安心して暮らせる環境づくりの啓発として、男女共同参画事業のパネルキャラバンを実施し、性の多様性に対する周知を行っている。



表面：宣誓者のお名前・交付番号  
裏面：お子さんのお名前（希望する場合のみ）等

仙台市パートナーシップ宣誓書受領証カード



さくら い やすし  
櫻井 靖 議員

## 問 災害時の食に関する町の対応は

### 答 災害時でも食事提供を通じて被災者の健康と安心を支えることは重要

**問** 災害を想定して町が管理している食料、水、また、粉ミルク、高齢者向け流動食等の備蓄品は何人分、何食分を想定して備蓄計画をしているか。また、その充足率は。

**危機管理監** 避難者の想定人数を東日本大震災時をベースにして5,000人とし、アルファ米は目標数2万9,000食に対して1万3,000食、ビスケットは目標数1万4,400食に対して6,600食、飲料水はペットボトルで目標数9万本に対して1万4,000本。おかゆを目標数1,700食に対して1,700食を備蓄している。粉ミルクは現在備蓄していない。

**問** 赤ちゃんなど弱者に対してはきちんと対応すべきではないのか。粉ミルクは保存期間が短く備蓄に不向きではあるのはわかるが粉ミルクの備蓄は必要だ。欲を言えばそのまま飲めて長期保存できる液体ベビーミルクを備えてほしいがどうか。

**危機管理監** 担当を含め粉ミルクに代わるものを検討していた。提案してもらった液体ミルク等の内容を調べながら備蓄に向けて考えていきたい。

**問** 町と行政区が協力して賞味期限が迫った備蓄品、食料等を放出して地域ごとに炊き出し訓練を行ってほしいがどうか。

**町長** 防災訓練だけではなく、地域で何か行事をやろうとしてもなかなか集まってくれない悩みがある。総合的な地域コミュニティの面からも含めて、議員の方にも働きかけを行ってほしい、一緒に取り組んでほしい。



**問** 町でも宮城県消費者センター等において、最新の詐欺情報を出前講座を企画し、多くの人に聞いてもらってはどうか。

**産業観光課長** 令和5年度に老人クラブ連合会と女性団体連絡協議会の会議で消費生活センターの出前講座を実施した経過がある。各種団体を所管している担当課と協議して計画的に実施できるところは実施していきたい。

**問** インターネット時代における特殊詐欺被害防止の対策は

**答** 登録制メールや各種SNS等を通じて注意喚起を図っている

**教育長** 学校としても今後子どもだけではなく保護者にも十分な注意喚起が必要だと考えている。今まで以上に強く強く啓発していきたい。そして、保護者に対しても大変なリスクがあることを十分に理解してもらいたい。

**問** 保護者に対して、子どもたちの携帯のフィルタリングサービス等の重要性についてのお知らせの現状は。





おざわ ようこ  
小澤陽子 議員

## 問 町長へのご意見箱の利活用状況について 全ての意見が町長に届いているのか

### 答 町長が全て目を通して

**問** 町長へのご意見箱の利活用状況について、ご意見箱を知らない町民への周知方法に対して検討しているのか。

**企画調整課長** 改めての周知は考えていないところである。

**問** ホームページの中に町長のご意見箱を設け、誰でも簡単にアクセスし要望や意見を書き込むことができる環境を用意するのが親切ではないか。

**企画調整課長** 町民の方が意見を寄せやすい手法について検討も必要と考えている。

**問** 年に数回、広報などで周知し、今、ひっそりと置かれている場所だけではなく各行政区で管理している避難所や会館等に堂々と置くことも、住民の方に対する親切な広報広聴となると思われるがどうか。

**企画調整課長** 現時点では、役場にきた際に投函してもらおう。他の場所は考えていない。

**問** 担当課から意見を寄せてくださった方への回答はしたのか。

**企画調整課長** 連絡先がない方は、意見という形で受け取り、苦情については担当課に情報を伝え投稿者へ回答している。

**問** 意見に対する回答や改善策の実施状況について、町民への回答はどのように行われるのか。

**企画調整課長** 回答は、関係する課等で共有し、実施の可否を含めた対応方針の整理の上、送信先が確認でき回答を要するものについては回答している状況である。

**町長** これからも投稿された方々には親切丁寧に答えていきたい。

**問** 全ての意見が町長のところまで直接届いているのか。

**副町長** 区の要望、手紙、はがき、全部町長が目を通す。町長の指示を受けて対応しているのが現状である。

**問** 意見交換会等の開催等、具体的な構想があるのか。

**企画調整課長** タウンミーティングも同じように実施していきたい、町民の方が意見を寄せやすい手法も検討をしていく。

**問** タウンミーティングは様々な制限や制約があり、非常に敷居の高い状況となっているが、町長の考えはどうか。

**町長** タウンミーティング等についても、今後もしっかり耳を傾けていきたい。



役場1階町民の部屋にある町長へのご意見箱



菅野 隆二 議員

問

不満の意見が多い障害への相談窓口を  
わかりやすく一本化すべきでは

答

窓口が異なっているにもかかわらず各担当職員の  
連携が取れているので問題ない

**町民福祉課長** 令和6年4月からこども家庭センターを設置し、支援体制の強化をしている。母子保健担当、児童福祉担当それぞれが共通認識を持って、発達に関する相

**問** 厚生労働省の発達障害者支援施策での市町村の役割である住民に分かりやすい窓口の設置や、連絡先の周知はしっかりできているのか。

**町長** 大変重要なものと考えている。発達障害のある方やその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、切れ目のない支援を行っていく。

**問** 発達障害児者への支援について町の考えは。

談はどこでも対応できる体制としている。

**問** 発達障害児は健康長寿課で保健福祉センターどんぐり、発達障害者は役場の町民福祉課が窓口。障害者手帳の発行も身体障害と知的障害は健康長寿課、精神障害は町民福祉課と異なっている。町民の満足度向上のためにも窓口を一本化するべきでは。

**町民福祉課長** 健康長寿課と町民福祉課の職員それぞれが連絡を密にして、連携を取っていることで問題のない体制になっている。

**問** 障害をお持ちの町民に対してのアンケート調査結果で「1か所の窓口で相談を終えることが少ない」という不満の意見の数が前回から倍になっている。どのように受け止めているのか。

**町民福祉課長** 相談窓口が不明な場合には町民福祉課で対応できるようにしている。職員の方で連携を図り、相談に来た方がたらい回しのような形にならないようにしていきたい。



一般質問

**問** 宮城県全体での喫緊の課題となっている障害者雇用の促進。町内民間企業における状況は。

**産業観光課長** 障害者雇用の対象となる民間企業に従業員40人以上の企業については9社、実雇用率については2・31%になっている。



**問** 法律で決まっている法定雇用率を達成できていないという状況である。県が市町村に対して積極的な働きかけを行っている障害者雇用推進ネットワークを松島町でも設立すべきではないか。

**産業観光課長** 民間企業の障害雇用率に対する意識が低かったため、まずは職員への意識付けが必要と感じている。就労を希望する障害者の支援体制を構築するために先進自治体の取り組みについて研究していきたい。



ごとう よしろう  
後藤良郎 議員

## 問 带状疱疹ワクチンの定期接種化について

答 令和7年度から対象者全員に予診票を送付し実施していく

**問** 宮城県または隣接する県における公費助成導入の状況と、助成導入年齢と助成額の設定はどのような状況か。

**町長** 県内では9自治体、東北地方では67自治体で任意接種に対する助成を実施しており、対象年齢は50歳以上または65歳以上となっている。助成額は、ワクチンが2種類あり、生ワクチンが3,000円から5,000円、組換えワクチンが2回あり1回当たり4,000円から1万3,000円となっている。

**問** 自治体では50歳からの導入が多い。また、日本の疫学試験における带状疱疹の年齢別発症割合を見ても50歳以上の発症が全体の65・7%となっている。住民の健康増進の観点から定期接種時の対象年齢は50歳からが適切だと考えるがどうか。

**町長** 国が対象年齢を65歳と規定したことから、本町でも国の方針に従うことにしている。

**健康長寿課長** 発症のピークが70歳代であり、接種後にワクチンの有効性が時間とともにある程度下がることを考慮して、国は定期接種の対象年齢を65歳と示している。

**問** 繰り返しになるが疫学試験における带状疱疹の年齢別発症割合は50歳以上の発症率が高い。この見解についての考えは。

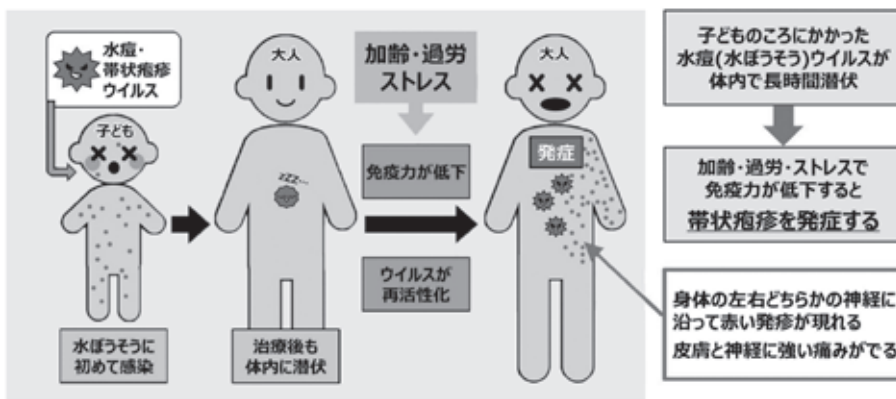
**健康長寿課長** データはそのとおりだと思う。国は対象年齢を決定するま

での間に、ワクチンの有効性と併せて費用対効果を研究して、結論づけたいと理解している。

**問** 带状疱疹ワクチンの定期接種化後の町民への自己負担額について本町の考えと設定根拠は。

**健康長寿課長** 発症及び重症化を防止する観点からワクチン代を本人負担とし、手技料及び事務手数料などについては町が負担するというところで、塩釜地区の2市3町及び塩釜医師会と現在協議を進めている。

### 带状疱疹とは (水ぼうそう) 水痘と同じウイルスで起こる皮膚の病気



**問** 接種費用は生ワクチンが1回接種で9,000円程度(1回あたり)、組換えワクチンが2回接種で2万2,000円程度(1回あたり)である。町負担は1回当たり4,000円となっている。ワクチンでかなりの差が生じ組換えワクチンでは多額の自己負担額になると考えるがどうか。

**健康長寿課長** ワクチンの有効性や持続性または発症予防効果等を踏まえ、それが価格に反映されていると考える。

※带状疱疹を予防する二つのワクチン

	水ぼうそうワクチン	带状疱疹ワクチン
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
発症予防効果	約50%	90~97%
免疫抑制剤を使っている人への投与	不可	可
効果の持続	約5年	9年以上
副反応	少ない	比較的多い
費用と回数	9000円程度 ×1回	22000円程度 ×2回



いの あきひろ 議員  
今野 章

## 問 高齢者等のゴミ出し支援について

### 答 様々な課題を一つ一つ前に進めたい

**町長** ゴミ出し支援は全国的な課題と認識し、町は令和元年9月から介護サービス事業者による直接搬入制度を実施。訪問介護利用者の負担軽減を図っている。

**総務課長** 介護サービスによる支援は、令和6年度2月末で30人。利用者、利用回数とも増加傾向にある。高齢者世帯等のゴミ出し支援制度は、県内4自治体が利用しその利用率は低い。町は現在の支援制度を継続し、

**問** 高齢者等のゴミ出し支援を質問した際、特別交付税が措置される事業は検討されたかと質問。町は、慎重に判断したいという答弁だったが検討結果は。

地域の支え合い活動を推進したい。

**問** 介護保険の認定枠外にいる人の実態をつかむ考えはないか。また、ゴミ出し支援をしている組織や個人の実態はどうか。

**総務課長** 65歳以上の独り暮らしは1,000人程度いる。家族などの協力が無い方の抽出など、健康長寿課と連携して進めたい。また支援する側の実態は把握していない。

**問** 10年先を考えた松島町らしいゴミ出し支援を構築すべきではないか。

**町長** ゴミ出しといっても分別や衛生面、プライバシーなど様々な課題があり、構築するとは簡単に言えない。一つ一つ前に進めたい。

## 問 タクシー活用の地域公共交通について

### 答 タクシー利用は考えていない

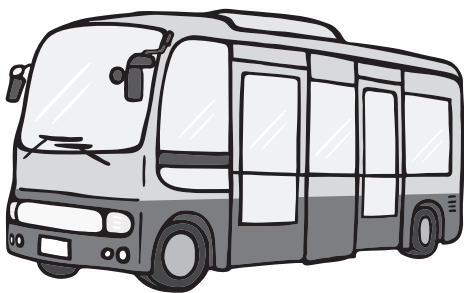
**問** 町営バスは、路線や時刻など住民要望に応えるべく繰り返し見直されてきたが、住宅密集地域での運行要望もある。地域公共交通を抜本的に見直す時期が来ていると思うが、地域公共交通会議での議論はどうか。

**問** 見直しの一例として、通勤時間帯は町営バス運行。日中はタクシーの活用という考え方もある。タクシー助成制度について中国運輸局で冊子を作っているがどうか。

**総務課長** 仕組みの提案と財源の部分とあるが、やはり財源が課題になると思う。

**問** 確かに財源、助成額や地域設定、タクシー会社が事業に応えられるかなど課題は多いが、県内では栗原市がタクシー助成を行っている。住民の意向調査や社会実験をする考えはないか。

**町長** 結論としてタクシー利用は考えていない。燃料も賃金も上がり、現状では今のやり方で精いっぱいである。





あかまゆきお 議員  
赤間幸夫

## 問 消費生活相談業務の充実を求める

### 答 宮城県消費生活センターと連携を取り やっていきたい

**問** 消費生活相談員が配置されていないのは、なぜなのか。

**産業観光課長** 令和3年度までは消費生活相談員を配置していたが、令和4年度は応募が無く、令和5年度以降は募集していない。

これまで消費生活相談員に声をかけてきたが、応募がないことから職員に消費生活センターが主催する研修で研さんを積みませ、窓口対応をしている。

消費生活相談員が、なぜ募集したにもかかわらず応募がないのかを分析すると、賃金に係る開設日数の設定や、消費生活相談員の専門的な知識など、スキルを必要とする

ため、適任者を見つけることが難しい。令和6年度は、これまでに18件の相談があり、月換算で1・5件になる。相談比率でみると県が7、町が3の割合であり、月1・5件の受付であれば職員で十分と判断している。

**問** 町民の利便性を考えれば、役場に消費生活相談員を配置するのが望ましいと思うが、町長の考えは。

**町長** 実際に窓口に来て相談される方は、そう多くは無いと聞いている。本町だけでは置けないので、例えば、置いている自治体同士が手を組んで、曜日により対応をするなど、今後は模索していく。



**問** 消費生活関連の地方財政措置、交付税措置は本町へどのくらいあるか。

**財務課長** 消費生活関連の地方財源措置は、普通交付税算定上の地域振興費へ消費者行政推進費として、令和6年度の本算定で137万円措置されているが、実行金額とは一致しない。



**問** 特殊詐欺や消費者トラブルが増加しており、消費生活相談員を配置して日常の相談業務や出前講座等の啓発活動を行い、町民の暮らしと財産を守ってほしいがどうか。

**町長** 特殊詐欺等による消費者トラブルが増えてくることは確かですが、今後は宮城県消費生活センターともよく連携を取り、出前講座等を開催していきたい。

# 一部事務組合議会報告

## 塩釜地区消防事務組合議会

令和6年12月25日(水)  
令和6年第4回定例会

### 議案の審査状況

#### 行政報告

①火災件数

管内 44件  
(前年比0件増)

#### ②救急出動件数

管内 9,529件  
(前年比158件減)

\*令和6年1月～9月末

#### ③要介護認定数

管内 4,827件

#### ④障害支援区分判定数

管内 281件

#### ⑤し尿及び浄化槽汚泥の搬入総量

5,061トン  
(前年比1558トン)

#### ⑥塩釜地区りふ斎苑利用実績

管内 1,729件  
(前年比24件減少)

\*令和6年4月～9月末

・令和6年度塩釜地区消防事務組合一般会計補正予算(第2号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合介護認定審査事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

・令和6年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算(第1号)

米川 修司議員  
片山 正弘議員

## 宮城東部衛生処理組合議会

令和6年12月23日(月)  
令和6年第4回定例会

#### ①行政報告

・市町別ごみの搬入状況

・令和6年度プラスチック資源のリサイクル状況

・資源物売り払い状況

・令和6年度年末年始のごみ受け入れ体制

・焼却灰等放射性物質濃度の測定結果

・排ガス中の放射性物質濃度の測定結果

・埋立地浸出水処理水、地下水放射性物質濃度の測定結果

・令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

・令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

・令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

・令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

・令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

賛成全員・可決

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

令和6年度宮城東部衛生処理組合一般会計補正予算(第2号)について

賛成全員・可決

## 宮城県後期高齢者医療広域連合議会

令和7年2月6日(木)  
令和7年第1回定例会

#### 議案の審査状況

・宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

・副広域連合長の選任の同意を求めることについて

・刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例

・宮城県後期高齢者医療広域連合個人情報保護法施行条例の一部を改正する条例

・会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

・宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

・令和7年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計予算

・令和7年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計予算

・令和7年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計予算

・令和7年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計予算

・令和7年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計予算

・令和7年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計予算

以上賛成多数・可決

桜井ていこ議員

### トピックス

### 表彰



全国町村議会議長会定期総会において色川晴夫議長並びに阿部幸夫議員が、自治功労者の表彰を受けました。



色川晴夫議長



阿部幸夫議員

# 議会報告会を開催しました

ご参加ありがとうございました

令和6年度議会報告会を開催しました。全地区あわせて163名の方にご参加いただきました。

議員一同、心から感謝いたします。また、各行政区からの要望や提言は、これらを整理し、町に提出いたします。

## 報告事項

- ・タブレット端末導入について
- ・令和6年第3回松島町議会定例会の議案審議について

## 班体制

### 第1班

- ・班長 片山正弘
- ・櫻井靖・中島一都・高橋幸彦・高橋利典

### 第2班

- ・班長 赤間幸夫
- ・菅野隆二・色川晴夫・後藤良郎・桜井ていこ

### 第3班

- ・班長 阿部幸夫
- ・米川修司・今野章・小澤陽子

## 行政区および実施日

( )内は参加者数

### 第1班

- ・本郷区 (10名)
- ・令和6年11月16日 (土)
- ・桜渡戸区 (11名)
- ・令和6年11月17日 (日)
- ・松島区 (11名)
- ・令和6年11月20日 (水)
- ・手樽区 (12名)
- ・令和6年11月24日 (日)

### 第2班

- ・北小泉区 (13名)
- ・令和6年11月3日 (日)
- ・高城区 (21名)
- ・令和6年11月15日 (金)
- ・下竹谷区 (7名)
- ・令和6年11月17日 (日)
- ・幡谷区 (20名)
- ・令和6年11月24日 (日)

### 第3班

- ・上竹谷区 (13名)
- ・令和6年11月3日 (日)
- ・初原区 (10名)
- ・令和6年11月17日 (日)
- ・根廻区 (12名)
- ・令和6年11月17日 (日)
- ・磯崎区 (23名)
- ・令和6年11月24日 (日)

## 各行政区からの

### 要望・提言 (抜粋)

- ・イノシシ等の有害鳥獣による被害対策を本気で講じてほしい。
- ・防災行政無線が聞こえない。難聴地域への対応とともに戸別受信機の対応をしてほしい。
- ・町道の草刈りを行ってほしい。
- ・避難所建設予定地に至る道路の幅員確保と倒木・がけ崩れなど心配な箇所がある。町道の管理をしっかりとしてほしい。
- ・県道8号線の交通量が増えて大変危険である。歩道整備を含めた道路整備を望む。
- ・高城町駅前の路上駐車が多い。交通の妨げになっており、ロータリーの活用を呼びかけてほしい。
- ・町営バスの停留所やダイヤを見直してほしい。
- ・ゴミ集積所まで坂があり遠く、ゴミ出しが大変である。集積所を増やすことはできないか。
- ・災害時の高齢者等避難行動の個別対策を立てるべきである。
- ・大雨時の内水氾濫対策(黒森地区)
- ・行政員等のなり手がいない。
- ・行政懇談会などを開催してほしい。

その他

## 議会報告会の様子



第1班



第2班



第3班

# 次回

## 第2回 定例会

# 6月3日 (火)

# 開会予定


- ▶ 傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

### 議会情報はここからどうぞ

松島町議会  
ホームページ  
こちらから



まつしま議会だより  
バックナンバー  
こちらから




## 町民インタビュー

議会だより表紙に各団体の活動を紹介します。今回は松島町交通安全母の会の会長にインタビューしました。

松島町交通安全母の会会長  
かま 鎌 たみ子 さん



松島町交通安全母の会の活動を教えてください。

春・秋交通安全町民総ぐるみ運動に参加しています。

飲酒運転撲滅作戦、飲食店・宿泊施設訪問活動を行っています。

子どもの事故防止啓発活動として各幼稚園にて紙芝居で交通安全を呼び掛けています。

これからの取り組みなどあればお知らせください。

A&COOP前での交通安全啓発活動を予定しています。

保健福祉センター玄関前のフラワーポットの花植えを行います。

議会に対してご要望やご意見をお聞かせください。

議会傍聴になかなか行けないのでネット配信がされればいいですね。

## 編集後記

4月は年度の始まりであり、入学、就職など人生の転機を迎えるイベントが多い時期です。多くの花が咲き、気候は温暖なため、花見をしながら酒盛りしている姿が各地で多く見受けられます。

さて、議会では令和7年第1回定例会からタブレット端末を導入し、本格運用を開始しました。事務連絡や各行事の案内等も端末による連絡でペーパーレス化による紙資源の削減にもつながっていると思います。編集もタブレットを運用しながら作業を行っています。

今後、短時間で効率的に文書を作成する手助けをしてくれる生成AI技術を活用した議会だよりの作成を提案していきたいと考えています。「読みやすい」「わかりやすい」議会だよりの編集に全員一丸となって取り組んでいます。

### 広報広聴常任委員会広報分科会

- (高橋 利典)
- 会長 櫻井 靖
  - 副会長 桜井ていこ
  - 委員 菅野 隆二
  - 委員 米川 修司
  - 委員 中島 一都
  - 委員 小澤 陽子
  - 委員 高橋 利典